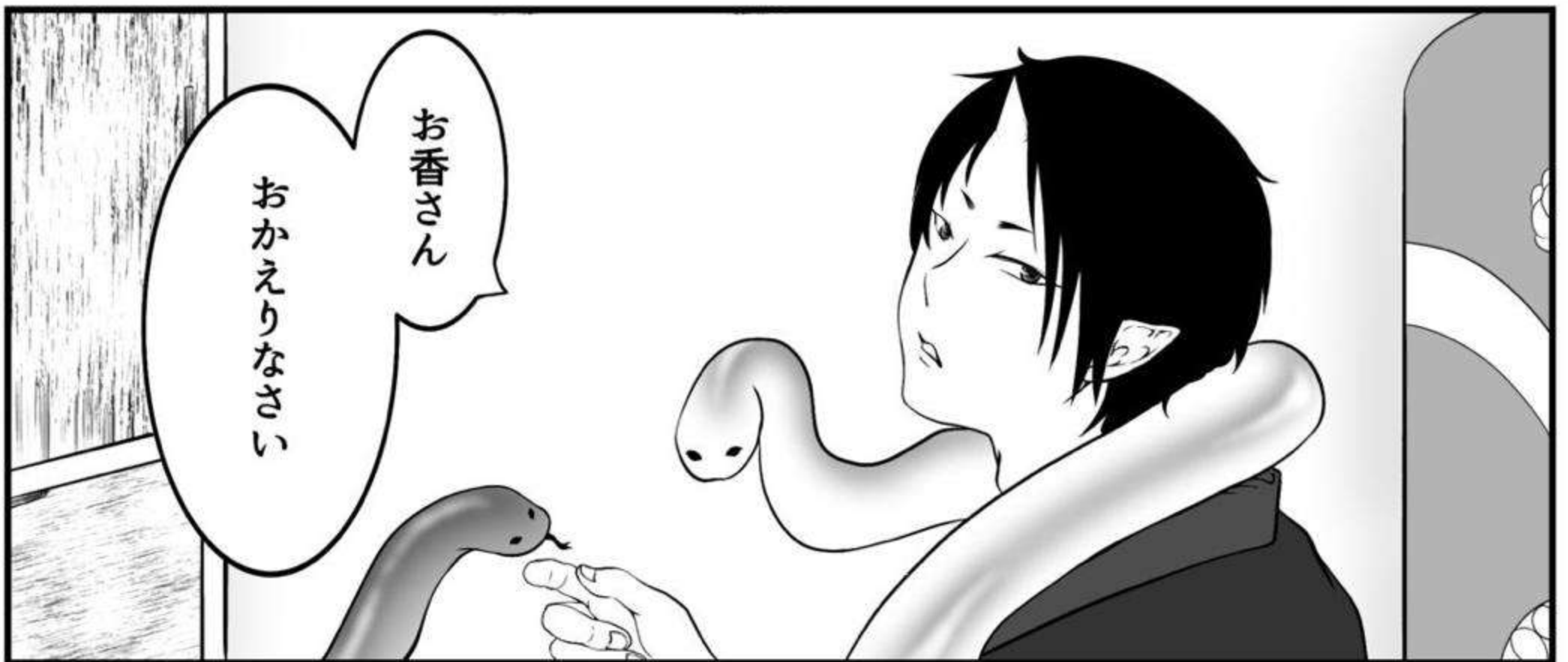
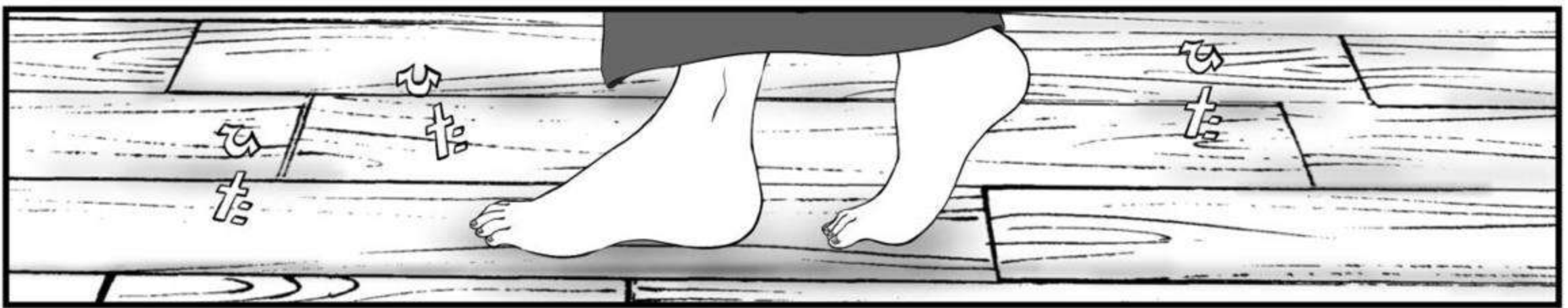
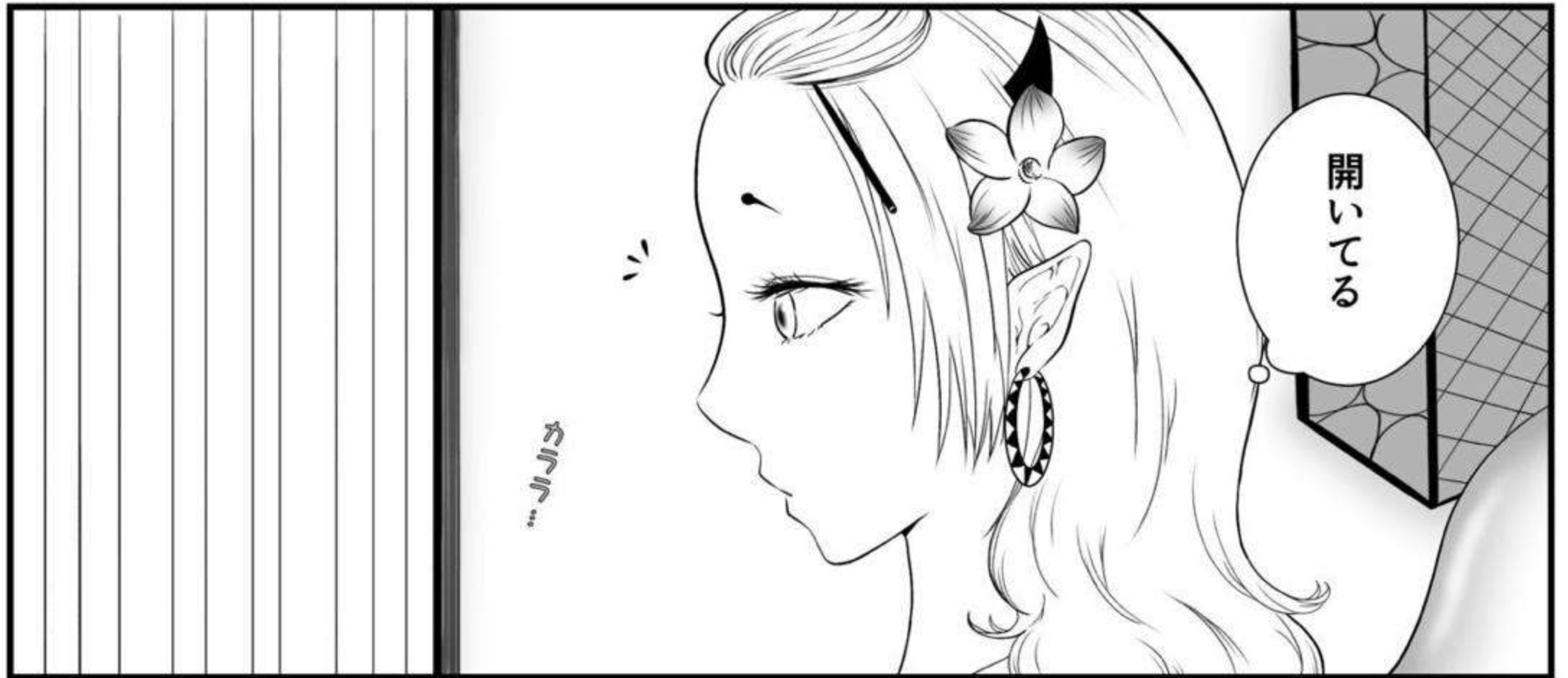
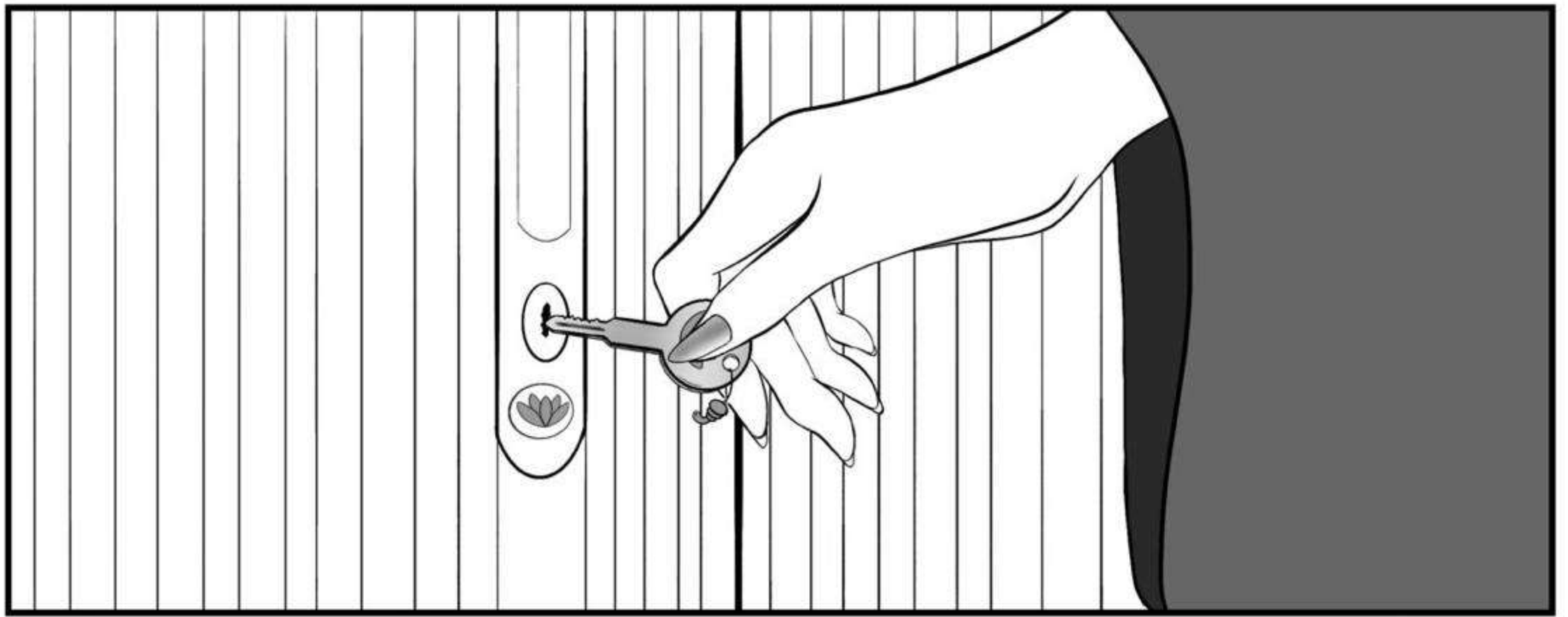




とうつに
あなたのもの

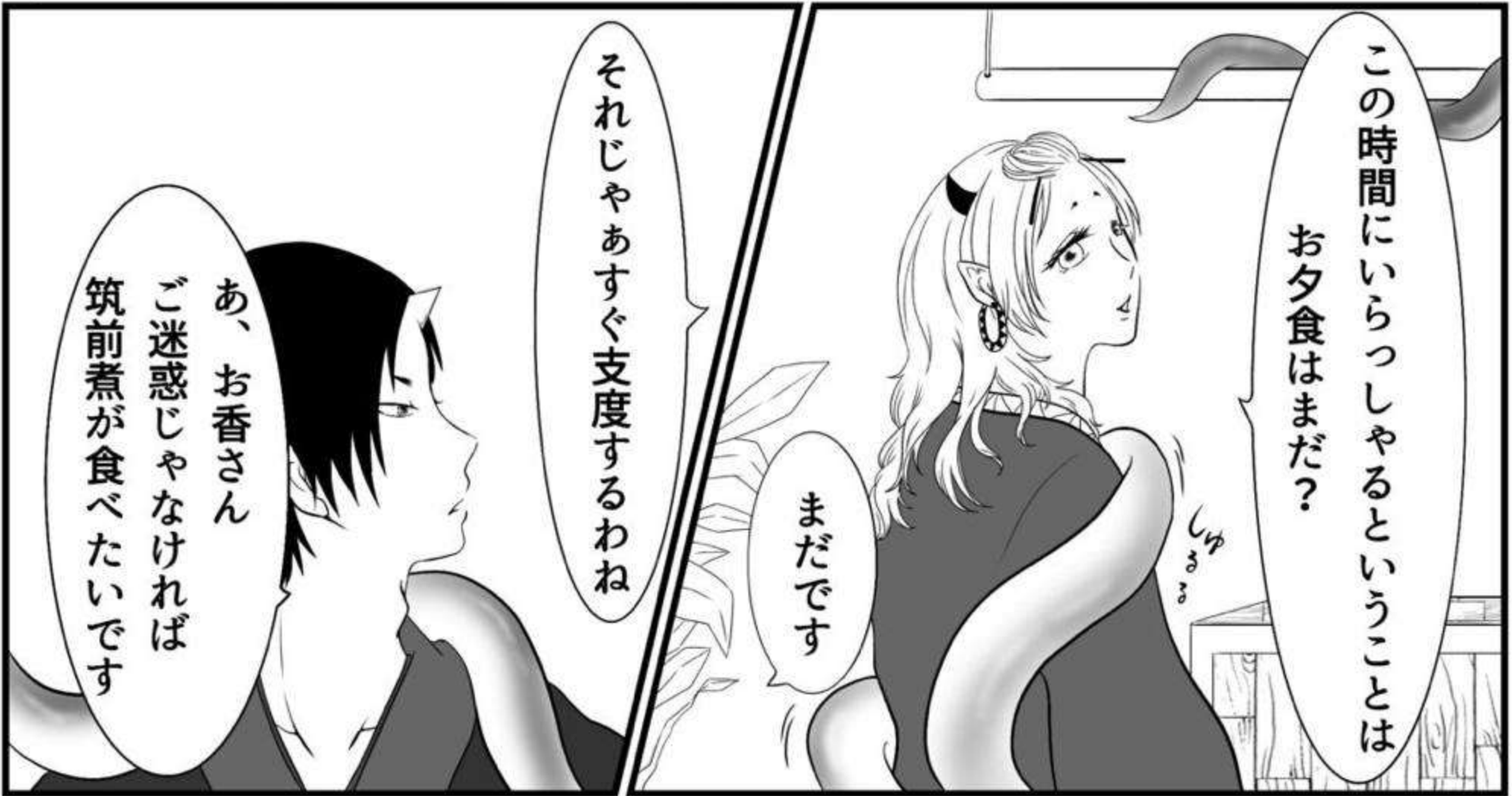
R18





まア鬼灯様
いらしてたのね

はい少し前に
お邪魔してます



この時間にいらつしやるということはお夕食はまだか？

まだです

それじゃあすぐ支度するわね

あ、お香さん
ご迷惑じゃなければ
筑前煮が食べたいです



筑前煮ね
そういえば最近作ってなかったわねエ

はい、無性にお香さんの筑前煮が
食べたくなりましたして
実は材料も買ってきてあります

あら、ありがとう
それじゃあすぐ作れるわね



あ、手伝います

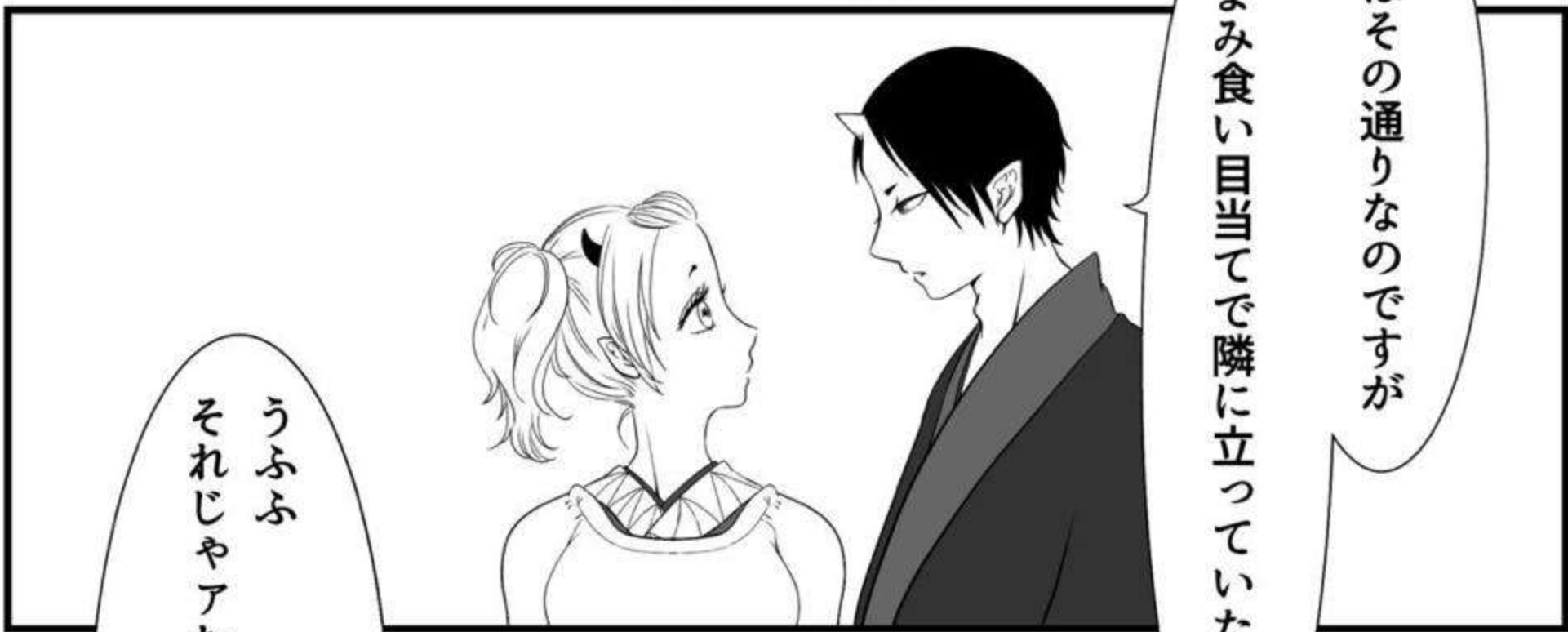
いいのよ、鬼灯様は寛いでらして

貴方のことだから
この後またお仕事に戻るのでしょ？



それはその通りなのですが

つまみ食い目当てで隣に立っていたいので



うふふ
それじゃアお願いしちゃうかしら



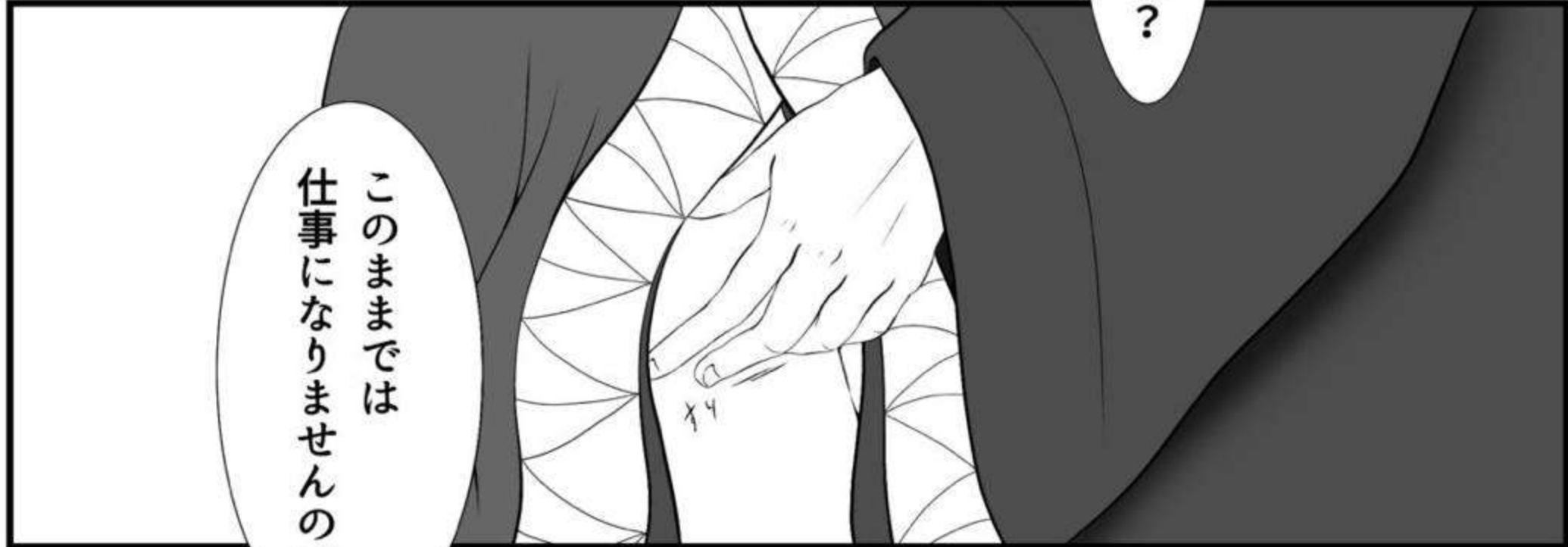






もう…

この後もお仕事なのでしょう？



このままでは
仕事になりませんので




困った方ね…






私と彼女は所謂幼馴染で

はるか昔から
彼女が私の隣にいるのは
とても自然なことだった



それは
上司と部下という関係が
追加された今でも変わらず

だから
彼女とこういう仲になるのも
私にとっては自然なこと



気障な台詞で将来を誓い合ったり
明確な言葉での誓約があったわけでもない

彼女の部屋の合鍵を貰った時のことも
正直言えばはつきりとは思い出せない



それほど私にとっては自然な流れだったのだ

私の隣には彼女がいて彼女の隣には私がいる



こうして合鍵で好き勝手に彼女の部屋を訪うことも許されるし

多い時期には週に何度も繁忙期はそうもいかないがそれでも月に何度かは肌を合わせるようになった

長い付き合いの中で言葉にせずとも分かり合える感覚のようなものもある



この関係に名前を付ける必要性は感じないが

ただの幼馴染とも単なる仕事仲間とも言えないこの関係が特別であることは間違いない





私はお香さんに…
何を伝えたことがあるだろうか

一度でもお香さんの気持ちを確認したことがあるか？

彼女の温もりに甘えていただけではないか？

彼女が受け入れてくれることを
当然だと思っただけではいなかったか？

彼女の幸せを考えたことがあるか？

何一つ言葉にしてはいなかったのに
彼女の心が自分にあると
何故思っていた？

自分の都合のいいように
解釈していただけではないか？

私は…一度でも
お香さんに自分の気持ちを伝えたことがあるか…？

私には

何の権利もない

翌日

報告は以上ですか？

ええ

新しい拷問の
成果については
後日詳しく
ご報告いたしますわ

はい、お願いします
ではもう今日は上がりですね
お疲れ様でした

お香さん

あと

これをお返しいたします



どうなさったの？
急ご…

これって…

え？

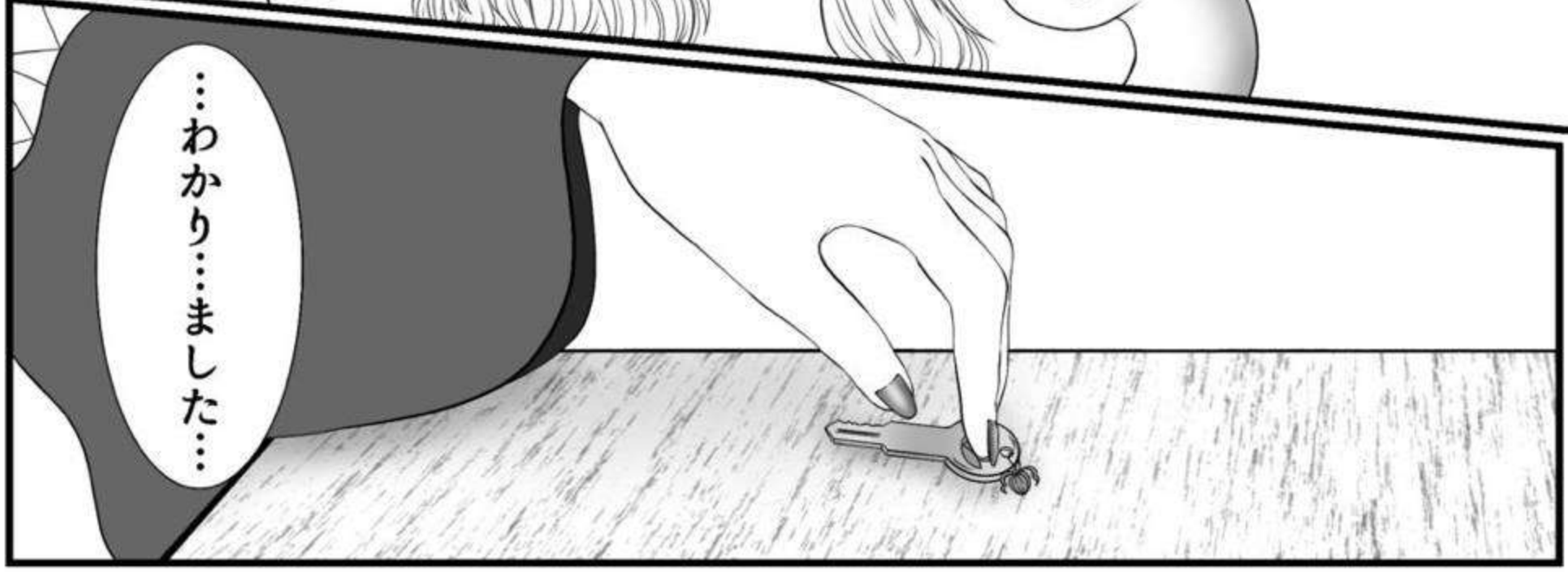


どうも…どうも…

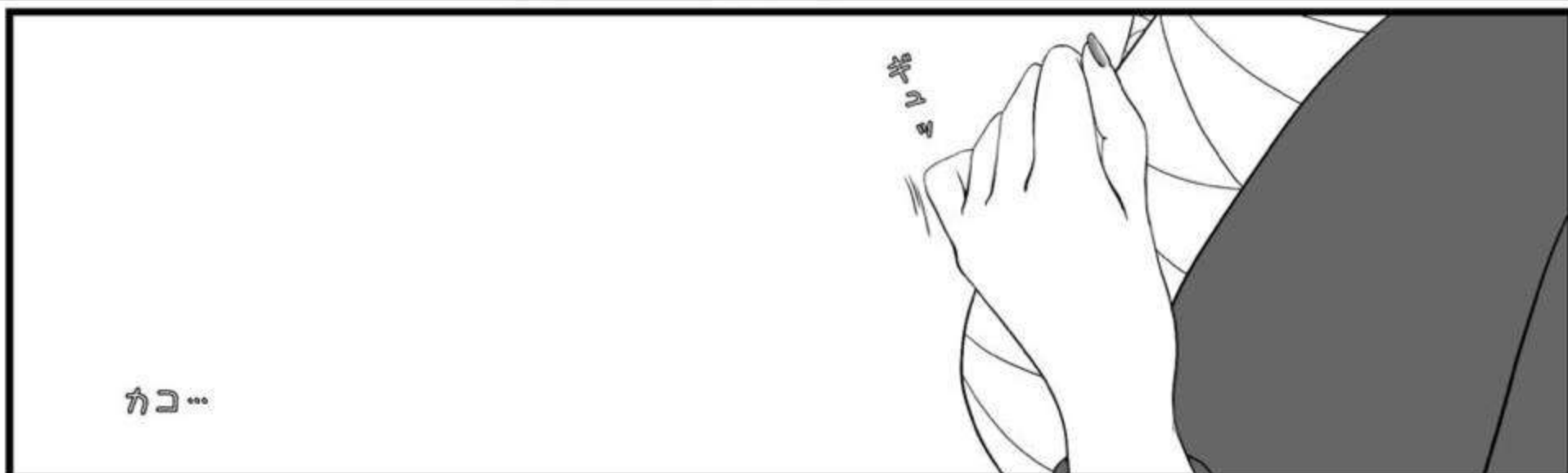
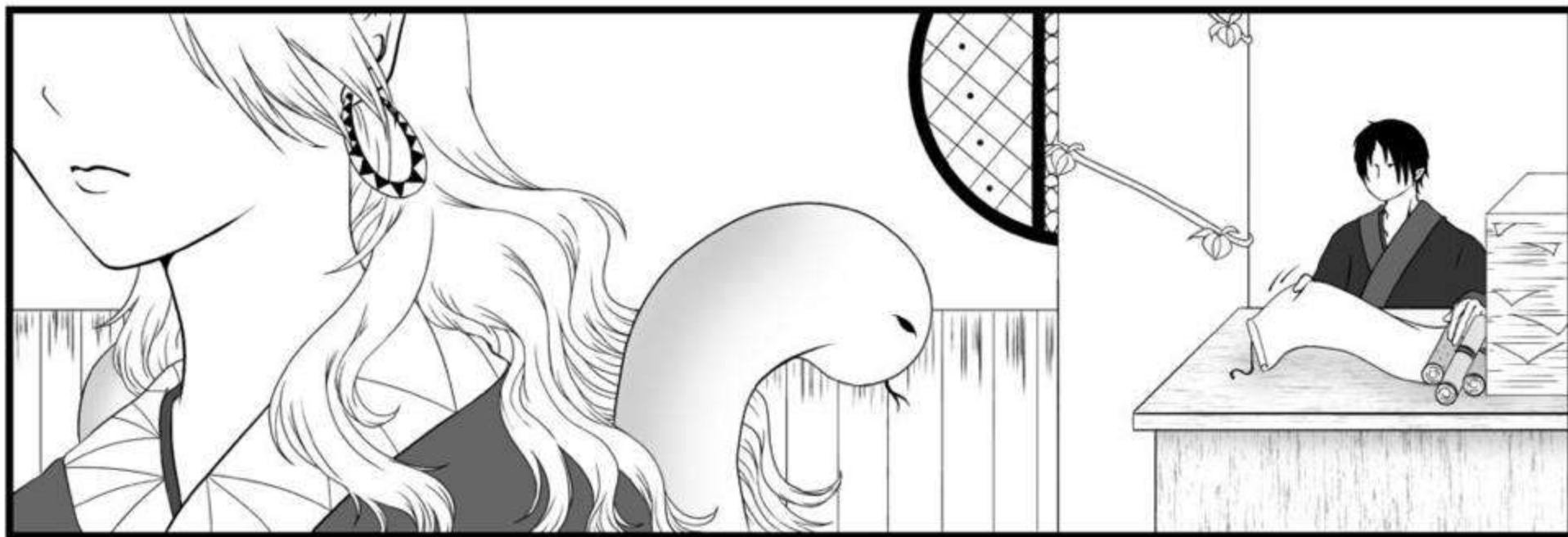
いえ…

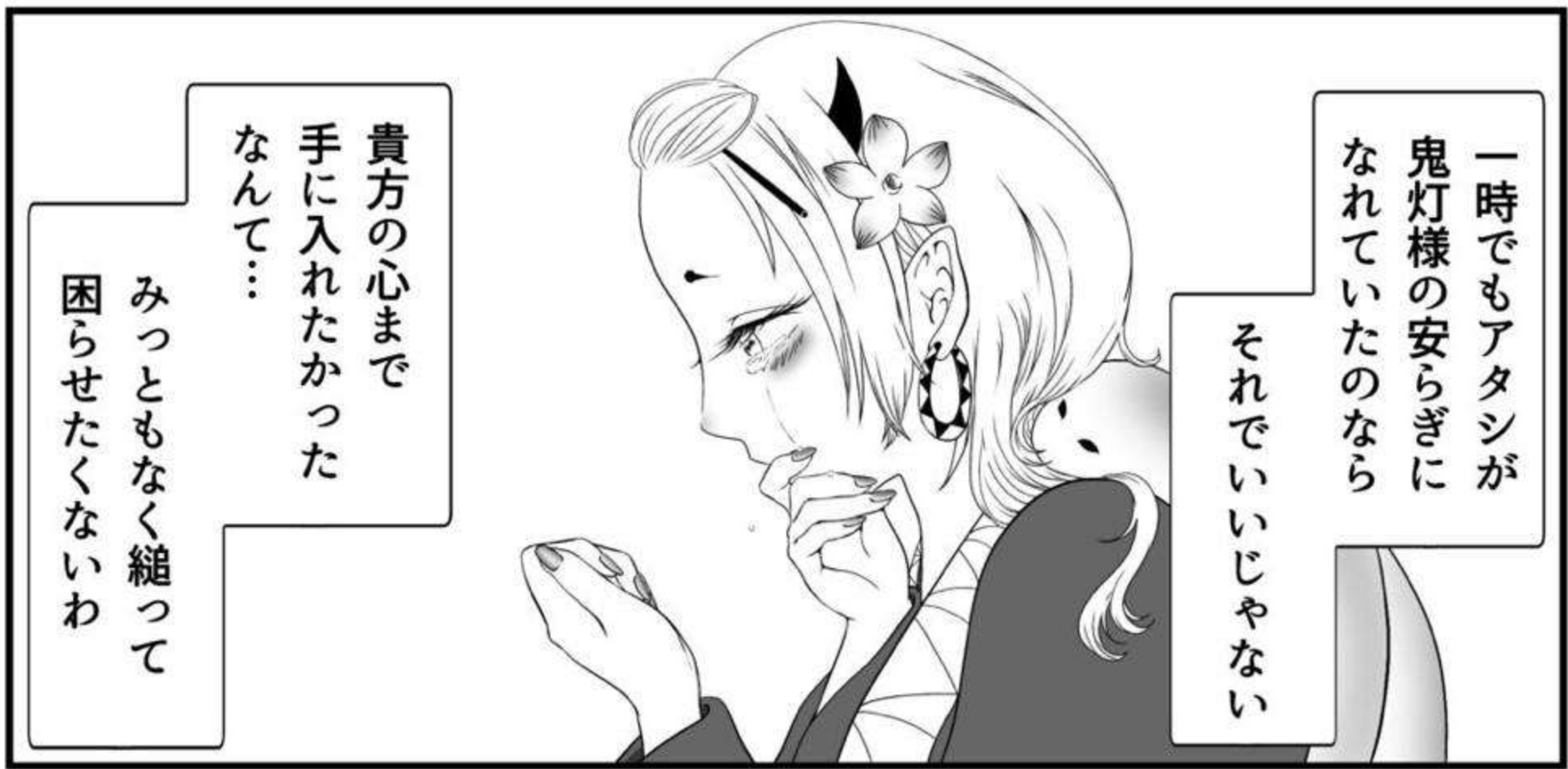
わざわざ口するのは
野暮ですね
ともかくこれは
もう必要ありませんので

貴女の恋人を
差し置いてまで
関係を続けるべきでは
ないでしょう



…わかり…ました…





一時でもアタシが
鬼灯様の安らぎに
なれていたのなら

それでいいじゃない

貴方の心まで
手に入れたかった
なんて…

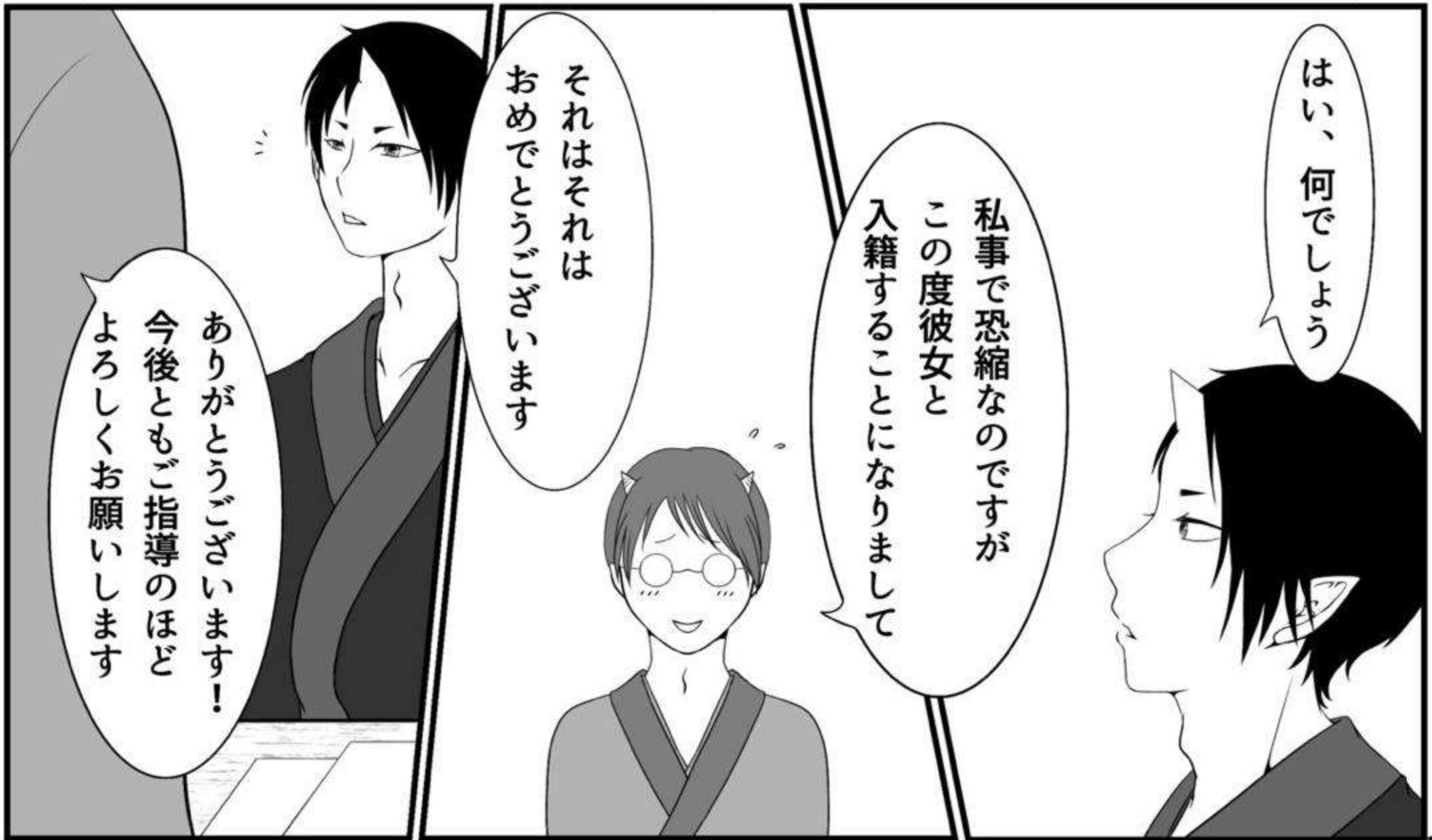
みつともなく縋って
困らせたくないわ



報告は以上です
これから入る夜勤の者への
引き継ぎも済んでいます

はい
お疲れ様でした

あ、鬼灯様
少しお時間
よろしいですか



はい、何でしょう

私事で恐縮なのですが
この度彼女と
入籍することになりました

それはそれは
おめでとーございます

ありがとうございます！
今後ともご指導のほど
よろしくお願ひします

つきましては
お香姐さんにも
お世話になりました

?
何故お香さんが?

彼女が蛇好きなんです
勿論、お香姐さん
ほどではないんですが

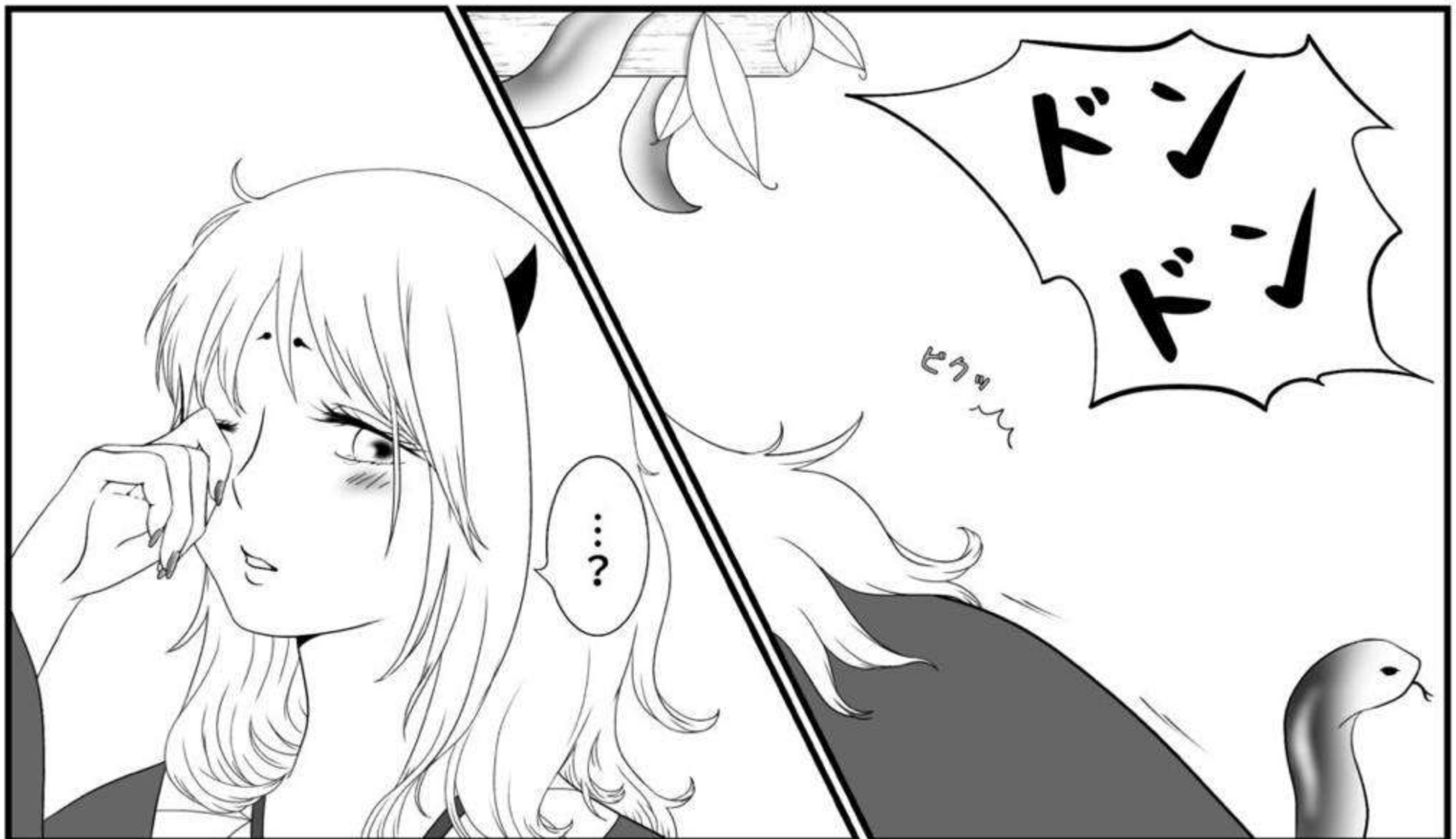
一方僕は
蛇がどうも苦手で…
なのでお香姐さんに
相談していたんです

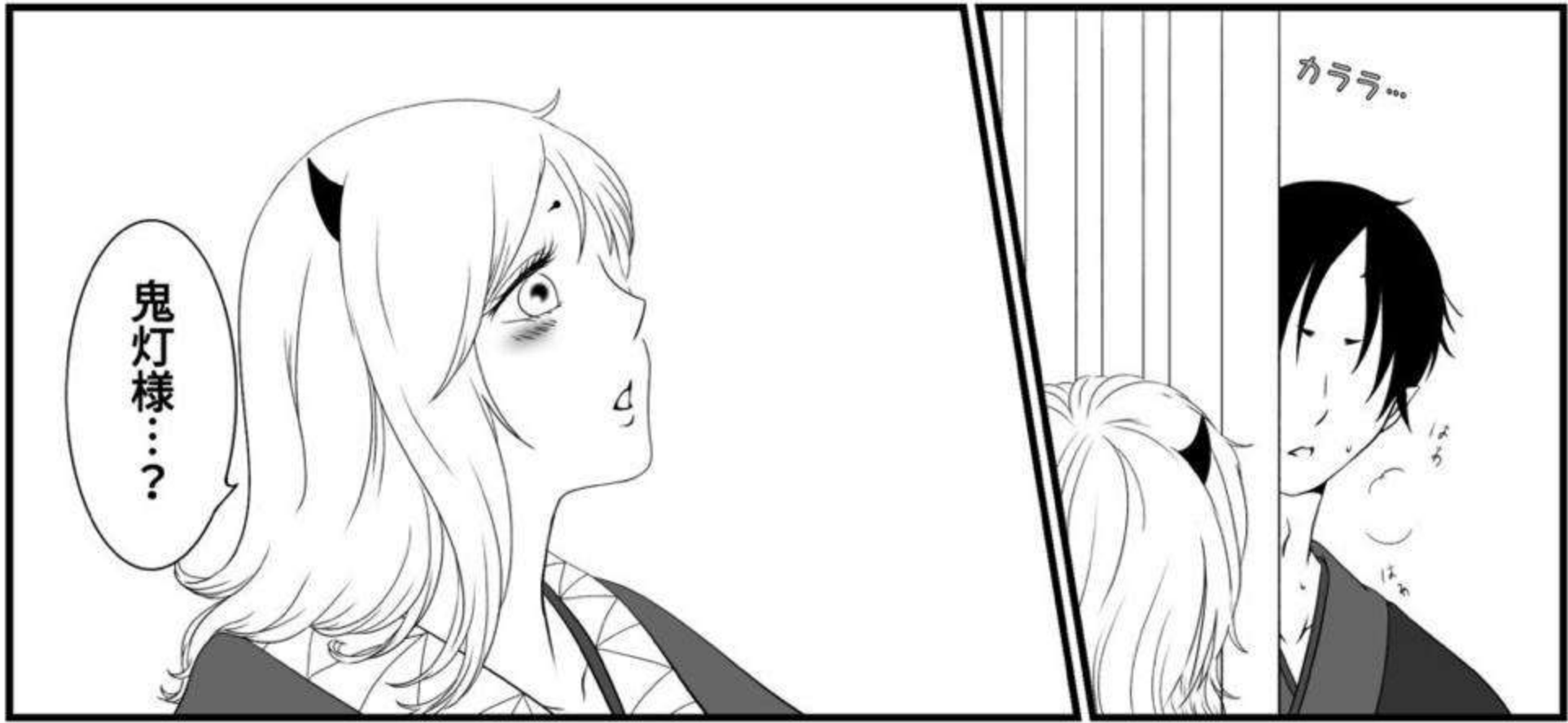
そうしたら昨日、
お香姐さんの部屋の
蛇獄卒の中で小さいものから
慣らす練習をさせて頂けて
蛇って触れ合ってみると
意外に可愛いんですね



お陰様で気持ちが固まり
すぐ彼女に会いに行き求婚を…
彼女も僕の決意を
待ってくれていたみたいで
良い返事をくれました

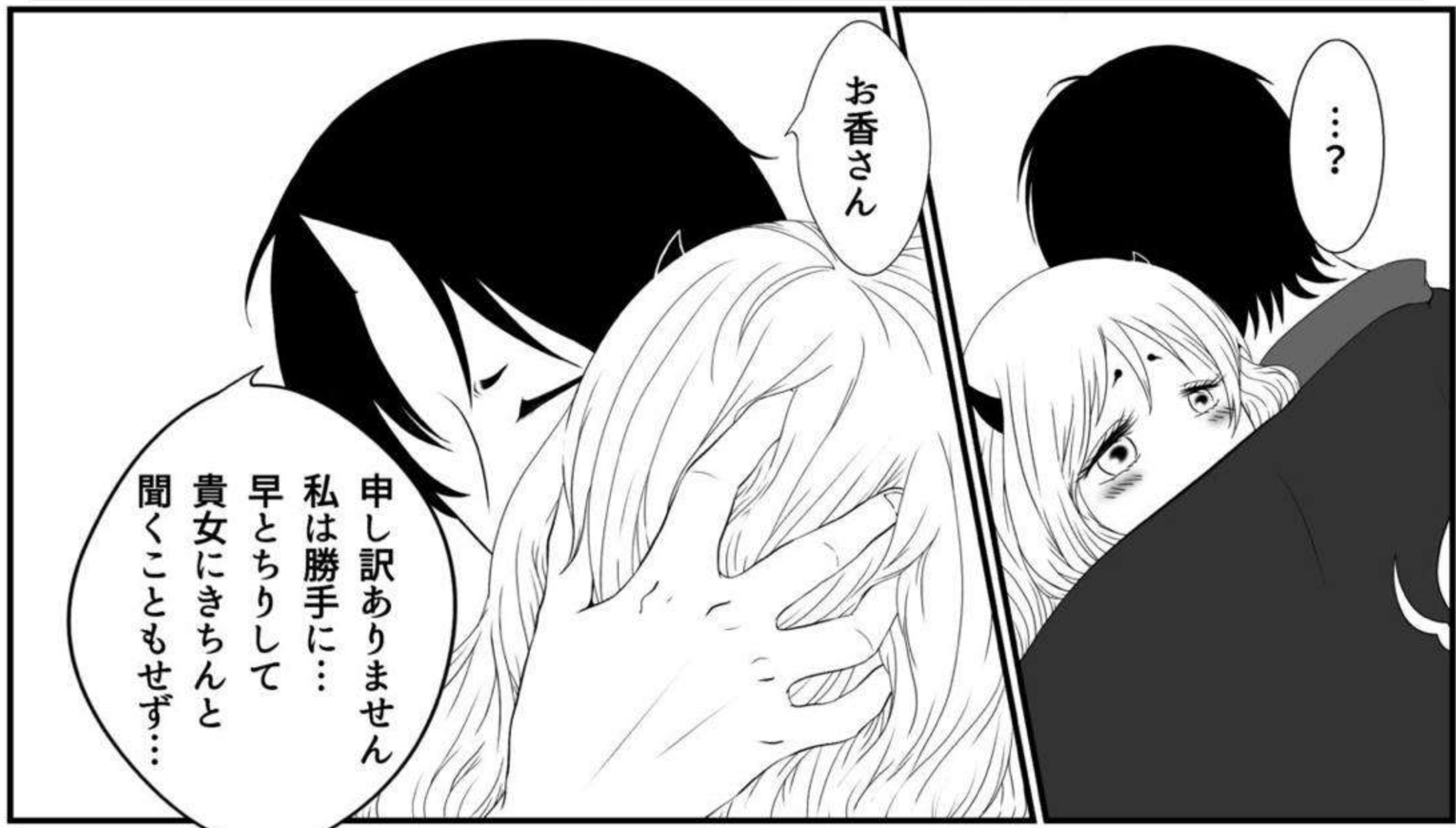
本当にお香姐さん
のおかげなんです





鬼灯様…？

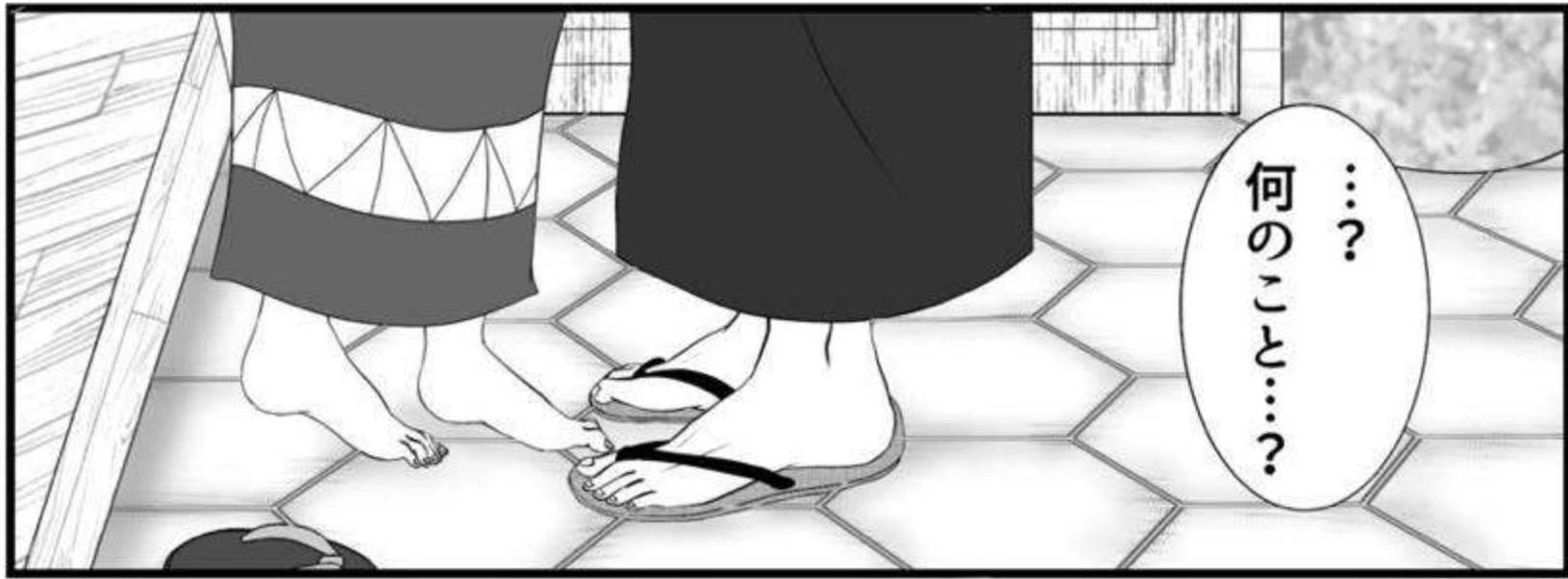
カララ…

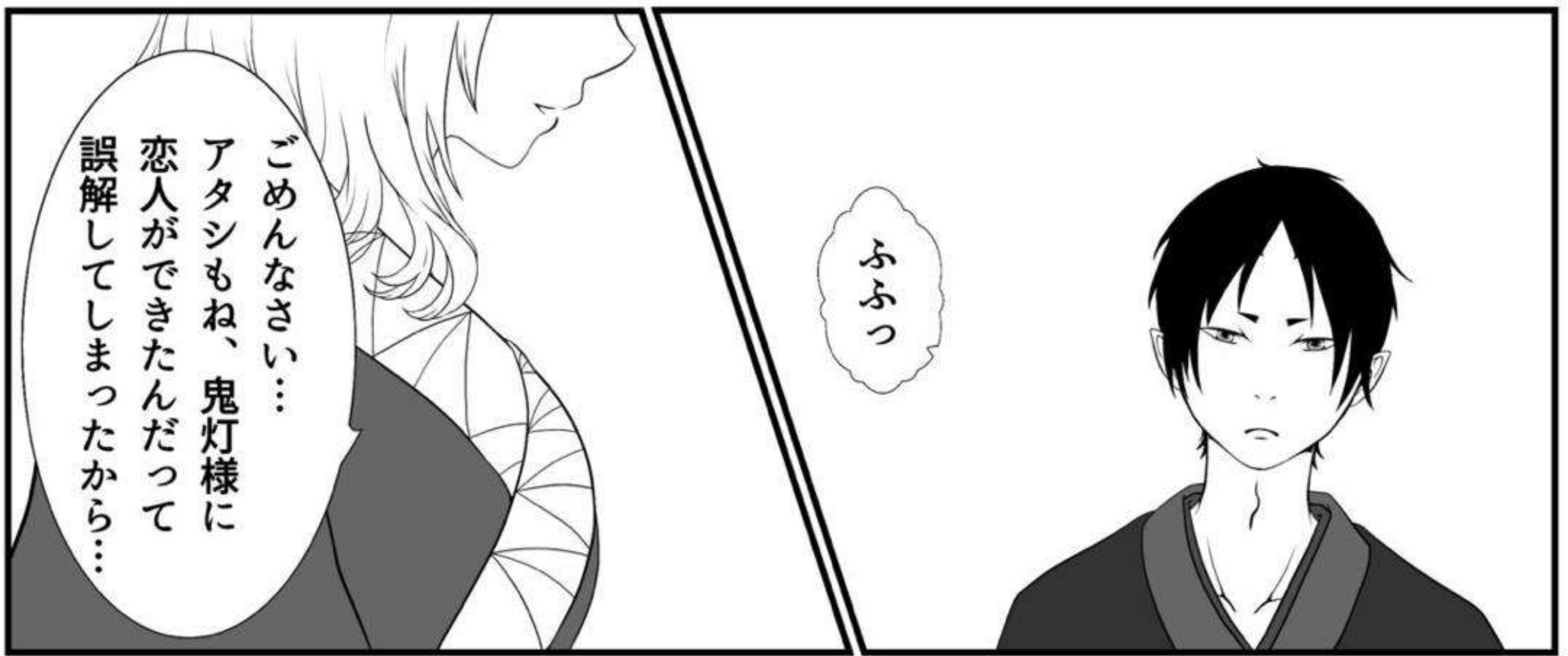


…？

お香さん

申し訳ありません
私は勝手に…
早とちりして
貴女にきちんと
聞くこともせず…





ごめんなさい…
アタシもね、鬼灯様に
恋人ができたんだって
誤解してしまったから…

ふふっ



鬼灯様が
嫉妬してくださったのが
くすぐったくて

アタシは特別なのかしらって
嬉しくなっちゃって

ひどい女ね



お香さん…



お香さんは私の特別なひとです

これからもずっと
誰にも貴女を譲るつもりは
ありません



…この関係が心地よくて
言葉にする必要はないと
思っていたんです

でも今は違います

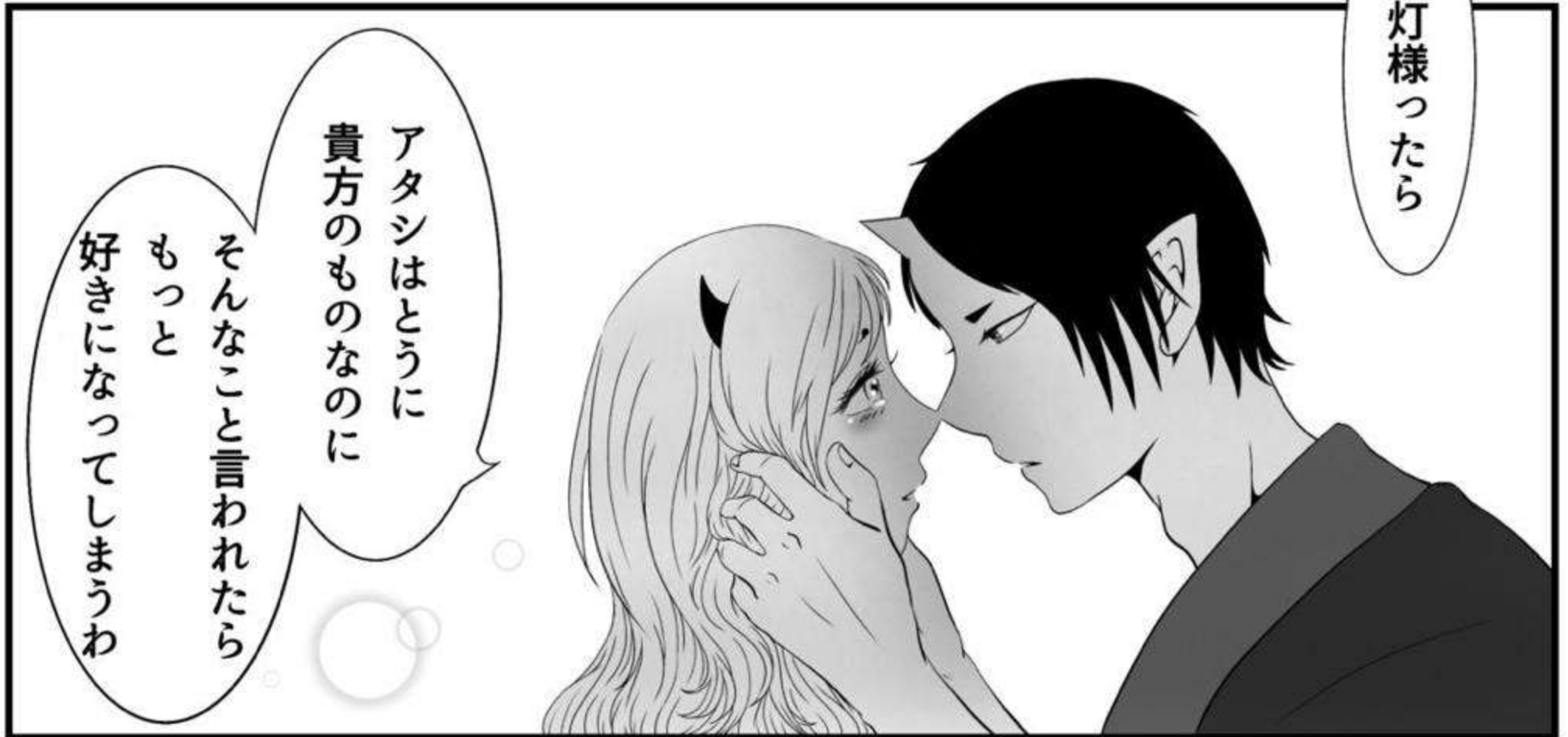
お香さん
私は貴女が
好きなんです



貴女を手に入れたい

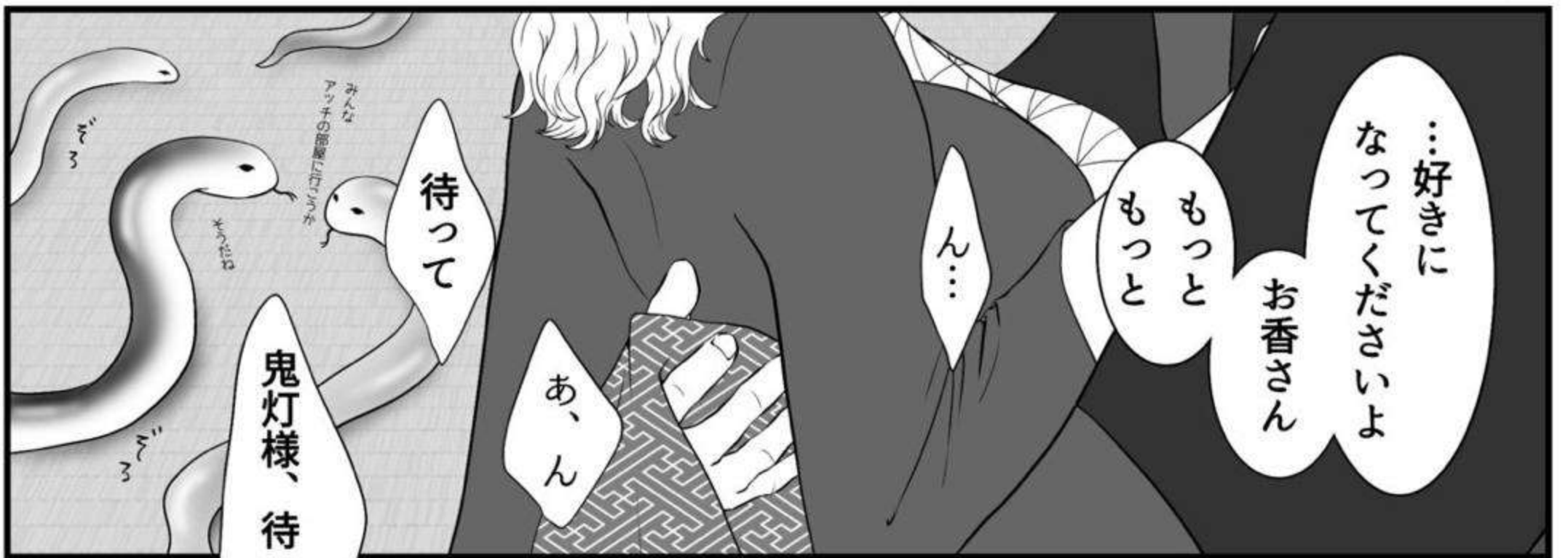


…鬼灯様ったら



アタシはとうに
貴方のものなのに

そんなこと言われたら
もっと
好きになってしまうわ



…好きに
なってくださいよ
お香さん

もっと
もっと

ん…

あ、ん

待って

鬼灯様、待って…



待てません





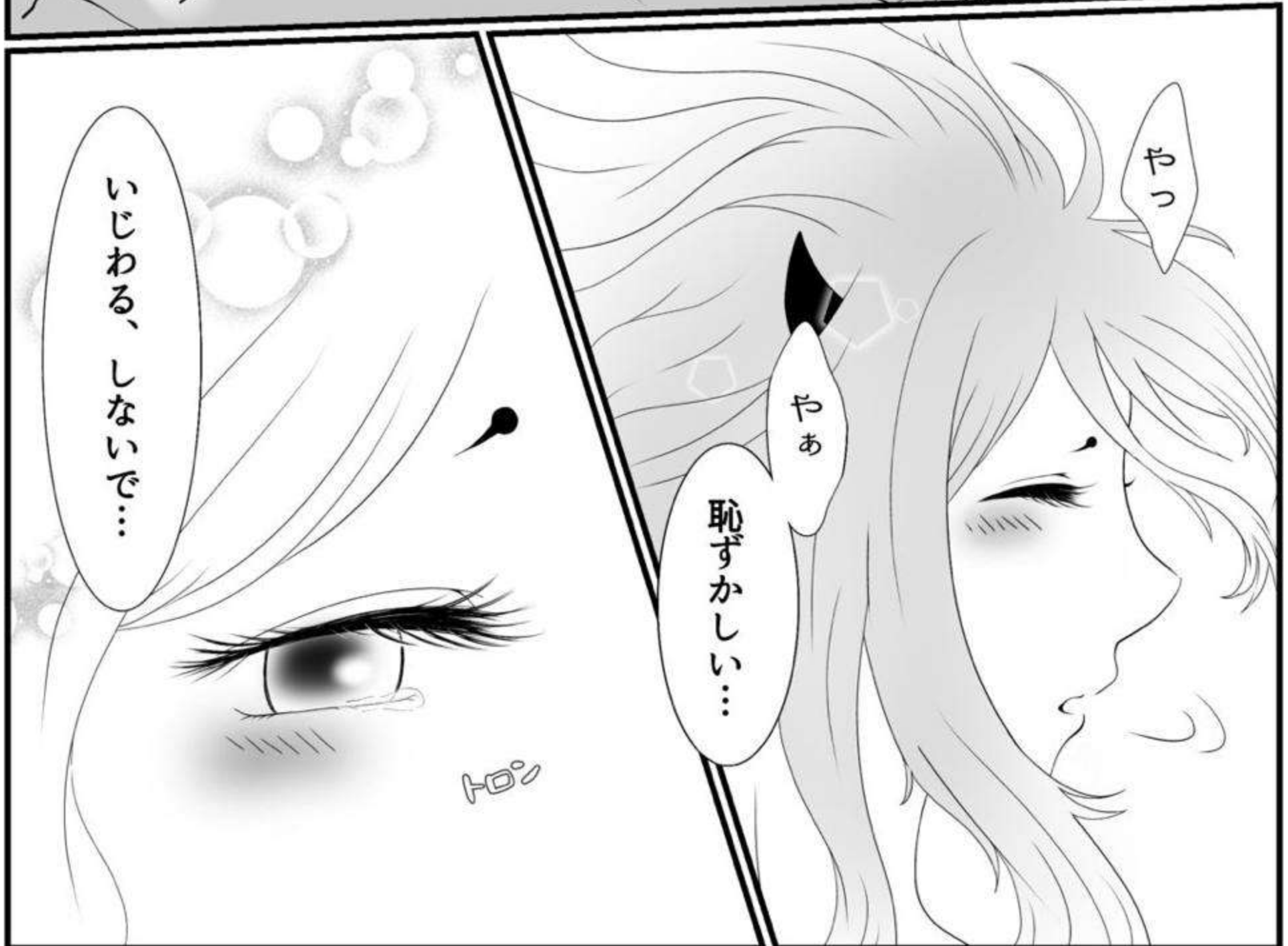


ほら
わかりますか

ははは

トロトロですわ

ぐちゃ
すちゃ
ぐちゃ
すちゃ

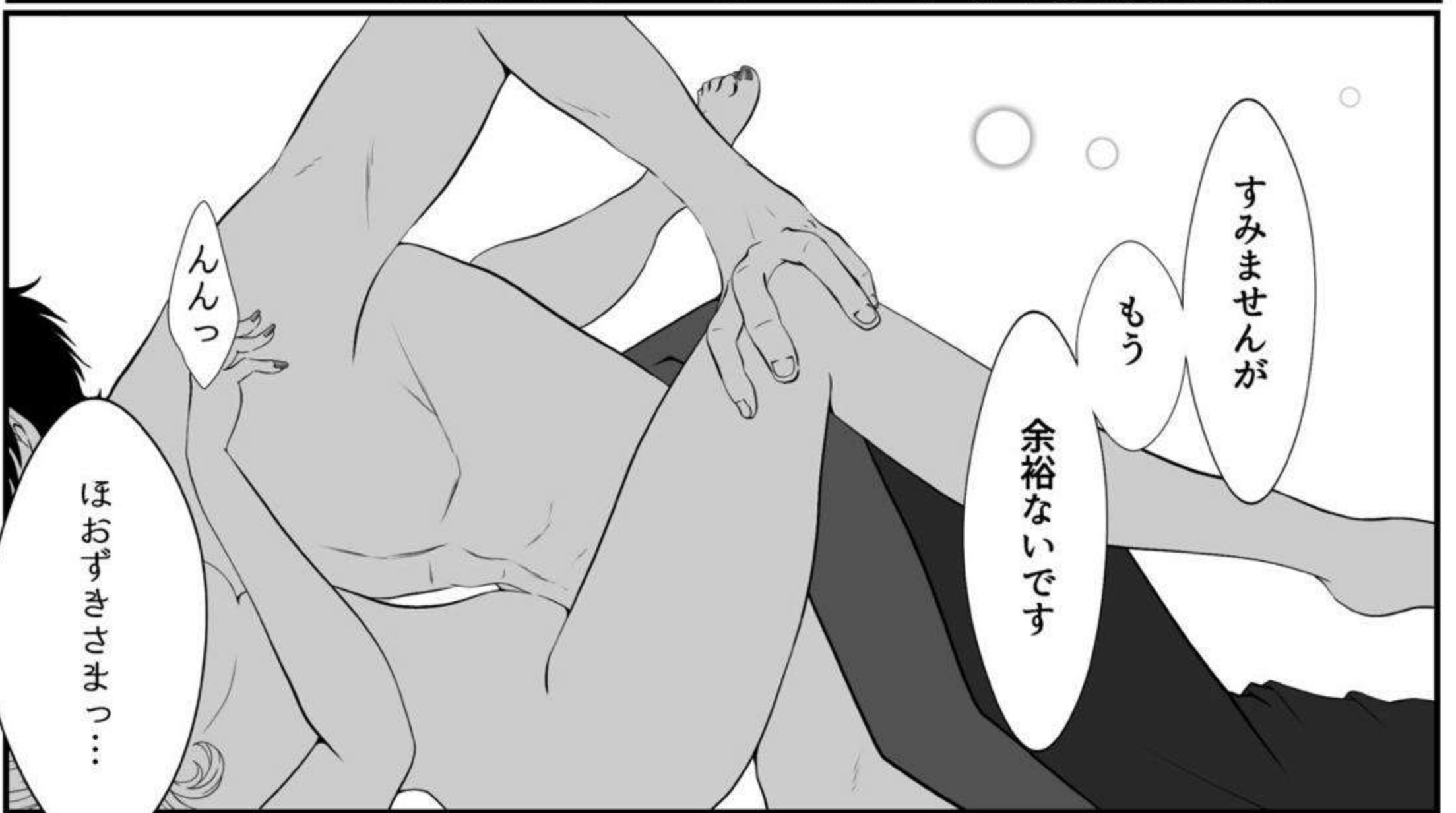


いじわる、しないで...

ちあ
恥ずかしい...

ちゅ

ちゅ



...

いじわるはどっちですか

そんな目で誘われて

私がどうなるかわかりませんか

え

あつ...

ふあ

あん

や、だめ、奥...

すみませんが

もう

余裕ないです

んんっ

ほおずきさまっ...

あつ…

はあ

はあ

っ…

はあ

…お香さん

ん…

はあ

！
ほ 鬼灯様
少し待って…？

ちゅっ

待ちません、と先程
言ったでしょう

ちゅっ

だ、だめ
少し休憩させて…

ちゅっ

そんな顔して
言われても却下です
今日は朝まで
止められません

ちゅっ

鬼灯様…
むり、壊れちゃう…

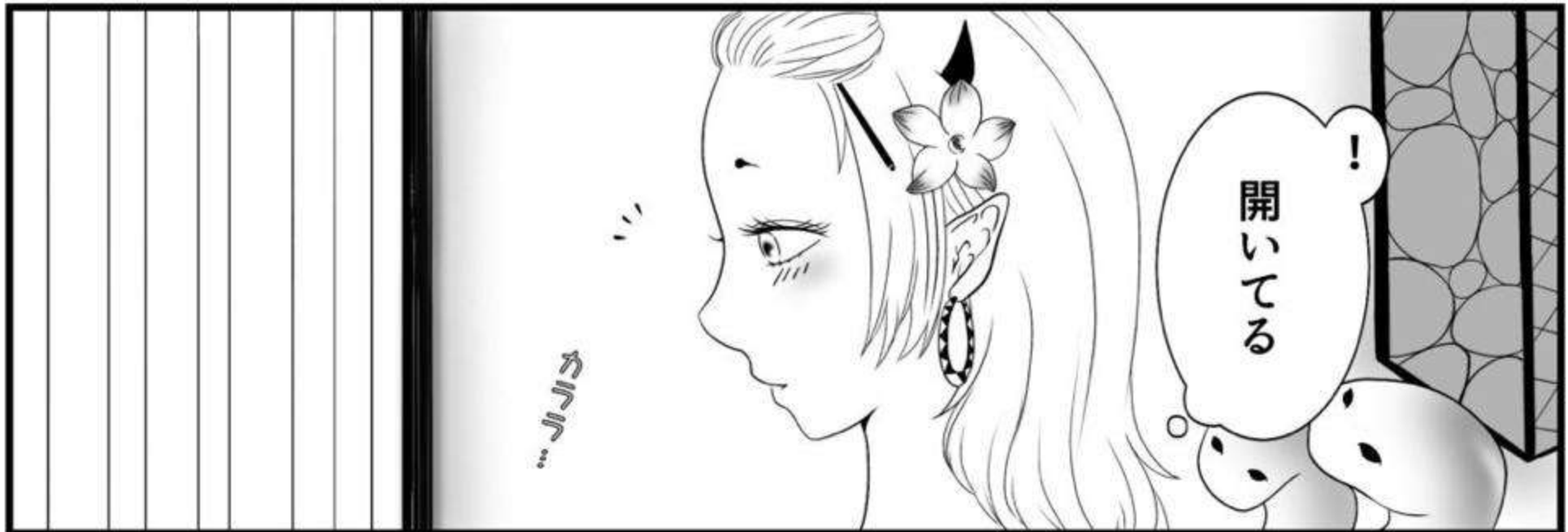
ちゅっ

大事にしますから

ちゅっ

そういうことじゃなくて…

あん





ただいま
鬼灯様

おん

今日は鍋の気分なのですが
ご一緒にいかがですか？
材料は買って来てあります



お鍋いいわねえ
この後お仕事は？

今日は全て終わらせて来ました

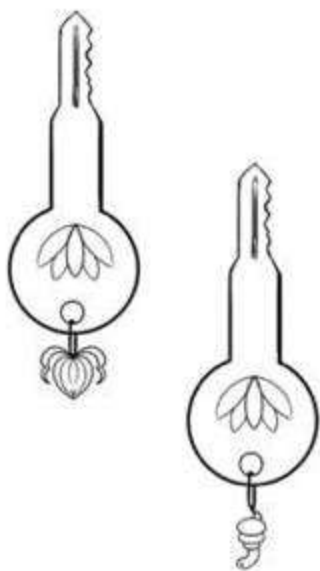
あら
じゃあゆっくりしていけるの？

そうですね
お香さん明日休みですよ
私も休みを取ってありますので
たまには一日
二人でのんびりしませんか

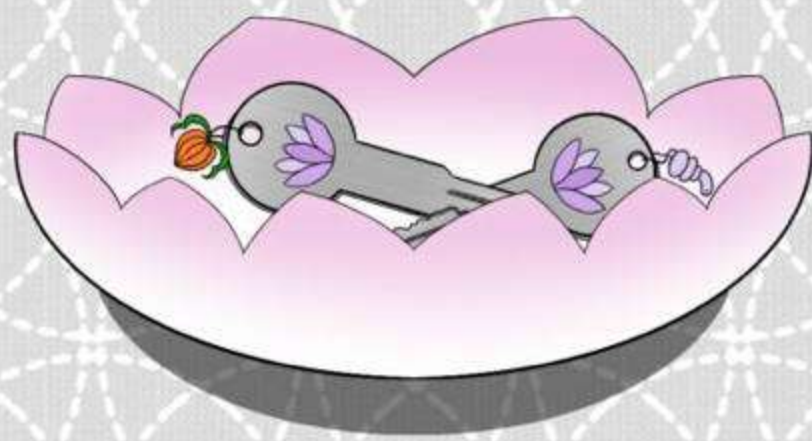
まあ
地獄一多忙な御方を独り占めして
いいのかしら

私はとうに貴女のものですよ

はじめまして！
深蛇と申します。
この本をお手に取ってくださり
ありがとうございます！
私の日頃の妄想を
ただただ詰め込んだ内容ですが
少しでも楽しんでいただけたら嬉しいです。
無自覚夫婦な距離感ゆえに色々なことが
不器用になってしまっていたらいいなあと。
ちゃんと気持ちを通わせてからの
鬼灯様の遠慮なしのガツガツ感も好きなんです…
タイトルにある台詞を
二人ともに言って欲しかったので
どこに入れるか最後まで悩みました。
ページ数の関係で
いくつか描きたかったシーンを
カットしたので
どこかで振り込む機会があればなあ…
描きたいものが増える一方です。
鬼香の妄想は尽きない！
それでは、また、お会いできますように。



埴輪ヌードル 深蛇



鬼灯の冷徹

アンオフィシャルファンブック

鬼灯 × お香

presented by 埴輪ヌードル